

パーパス

公平・公正なオートオークション市場を維持し
利便性を高め続ける

長期
ビジョン

「公平・公正な取引」と「資源循環」のためのスキームを創造し
持続的に企業価値を向上させる

財務目標

ROE
15%以上

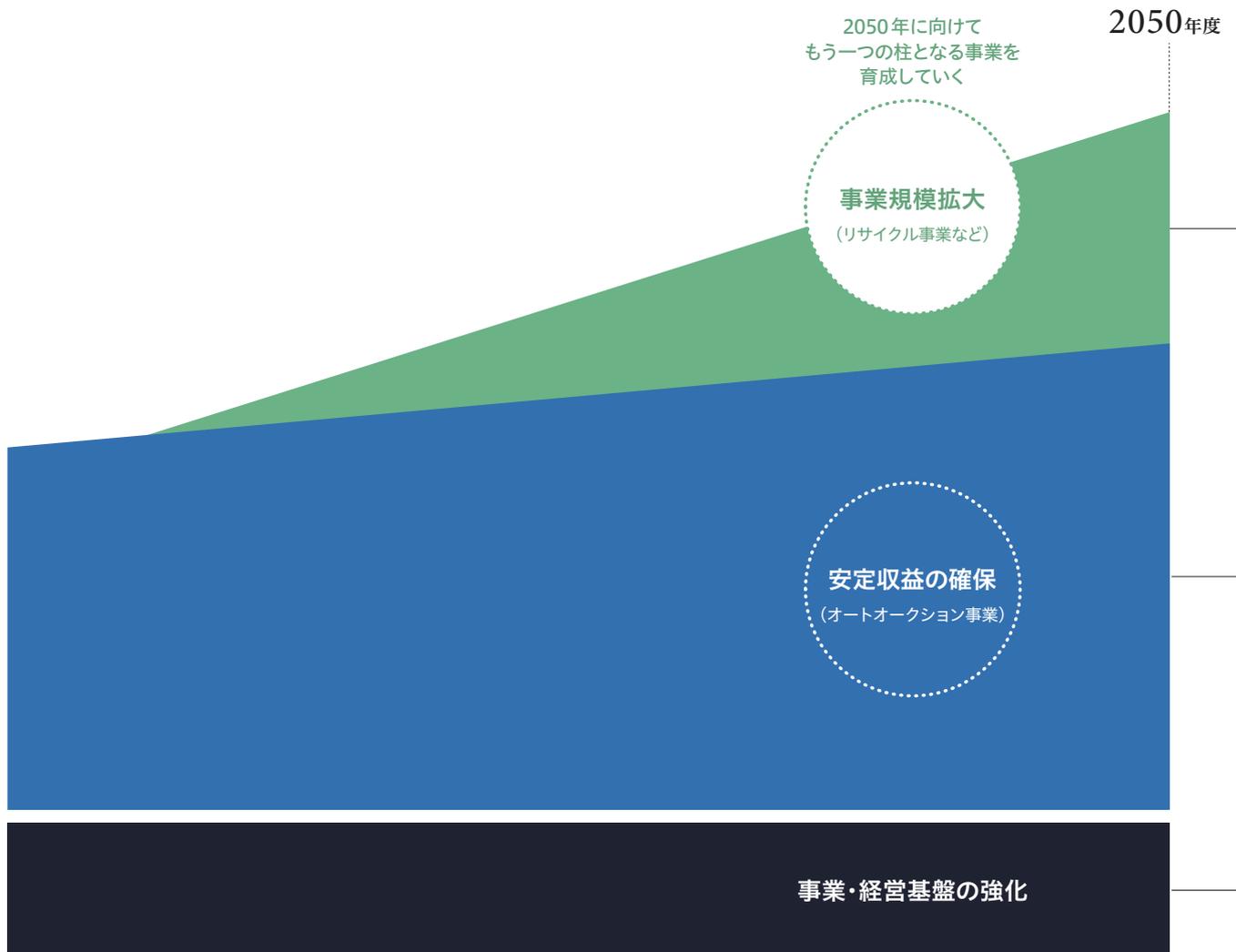
連結配当性向
55%以上

総還元性向
80%以上*

※ 2026年度までの3か年は、総還元性向80%以上とすることを株主還元方針としています。

成長
イメージ

- 循環型社会・サーキュラーエコノミーへの貢献を高めながら、事業を拡大。
- オートオークション事業のシェア拡大によってさらなる収益拡大を目指す。
- 2050年度に向けて、もう一つの柱となる事業も確立。



目標・KPI

主な成長投資(2024年度~2026年度)

マテリアリティ

事業規模拡大

資源リサイクル事業売上目標

100億円(2027年度)

プラントリサイクル事業売上目標

100億円(2026年度)

→ P.39-40

①アルミなどの新たな資源リサイクルの事業化

アルミニウムのダイレクトリサイクルをはじめとする、さまざまな資源リサイクルの事業化。

②太陽光パネルリサイクルの事業化

大量発生が予想される太陽光パネルのリサイクルを事業化。

①②合計で約30億円を想定。

資源循環

目標・KPI

主な成長投資(2024年度~2026年度)

マテリアリティ

安定収益の確保

オートオークション市場シェア目標

50%

→P.35-36

①横浜会場の新築建替え(2024年度~2025年度)

出品台数の増加が著しく、立体駐車場を併設したオークション会場に新築建替。約80億円を想定。

②HAA神戸会場の新築建替え(2025年度以降)

西日本最大のオークション会場として、会場の新築建替えや立体駐車場を増設予定。約100億円を想定。

③東京会場の新築建替え(2026年度以降)

国内最大の会場(平均出品台数:約15,000台)だが、築20年が経過。能力拡張のために新築建替えを予定。

④オークション基幹システム刷新(2024年度~2026年度)

出品車両や落札に関する情報を管理するシステムを、2026年度までに刷新予定。約50億円を想定。

資源循環

情報管理

目標・KPI

主な取り組み(2024年度~2026年度)

マテリアリティ

基盤の強化

CO₂排出量削減目標(2021年度比)

Scope1、2 合計

42%削減(2030年度)

Scope3

25%削減(2030年度)

などのマテリアリティKPI

→P.25-26

①人材育成

取扱台数拡大に向けた検査人材の早期育成 →P.31-32、P.56

②事業にともなう環境負荷の低減

- 廃棄物のリサイクルの推進 →P.64
- 温室効果ガス排出量の削減 →P.58-64

③ガバナンスの強化

- ガバナンス・コードに対応した情報開示 →P.41-46
- ESG指標を盛り込んだ役員報酬制度 →P.43-45

人材マネジメント

資源循環

気候変動

公平・公正な取引